

# 大学情報活用フォーラムのご案内

2023年6月吉日  
株式会社SRA東北

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、弊社では下記の日程にて「大学情報活用フォーラム」を開催することになりました。

今年の「大学情報活用フォーラム」は対面形式での開催とし、講師の方々から各大学における情報活用の事例等を紹介すると共に、参加者皆さまの情報交換の場としてお役立ていただければと考えております。

ご多忙中とは存じますが下記開催概要をご参照の上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

## 開催概要

- 開催日時 2023年8月4日(金) 13:30～ (受付開始:13:00～)  
(受付の際に名刺を1枚頂戴いたしますので、ご準備をお願いします。)
- 会場 ホテルメトロポリタン仙台 4F
- 定員 100名(先着順とさせていただきます。)
- 参加対象者 大学・教育機関の教職員のみとさせていただきます。
- 参加費 情報交換会へ参加されるお客様については、お一人様2,000円の会費を当日会場の受付にて申し受けます(領収書は発行いたします)。
- 参加申込方法 下記のURLより、必要な情報を入力し、申込してください。  
<https://forms.gle/TvUqy19G6tf7iDkF7>  
申込頂いた個人情報については、当フォーラムに関する連絡や同様のセミナー開催時の案内、弊社製品の案内のみに使用致します。
- アクセス



【申込QRコード】



ホテルメトロポリタン仙台：〒980-8477 宮城県仙台市青葉区中央1丁目1番1号

TEL 022-268-2525 FAX 022-268-2521

JR仙台駅2階正面出口(西口)から歩道橋(ペDESTリアンデッキ)に出て左方向にございます。

※プログラム内容については次頁をご覧ください。

## **プログラム 受付開始 (13:00-)**

### **第一部：講演会 (13:30-17:30)**

#### **(1) 公開データを利活用する IR 実践事例～政府統計の総合窓口 (e-Stat) を題材に～**

講演者：山形大学 学術研究院 教授 浅野 茂 様

新型コロナウイルスの影響を受け、多くの大学において DX (デジタルトランスフォーメーション) への取り組みが加速化されています。オンライン授業と遠隔学習、デジタルコンテンツの開発と教育への活用、学生サービスのデジタル化などがその代表例ですが、IR 担当者が日常業務において利活用できるデータについては、その限りではないと言えます。こうした現状を踏まえ、本セッションでは日本の統計を一覧でき、かつ基礎データ等を入力できる「政府統計の総合窓口 (e-Stat)」の概要を紹介するとともに、IR 業務において公開データを利活用するためのデータマネジメント、可視化等の具体例に加え、取り組む際の注意点や課題、さらには今後の展望等について話題提供させていただきます。

#### **(2) オープンデータを活用した IR のはじめ方 東北学院大学での活用事例**

講演者：東北学院大学 高等教育開発室副室長 講師 齋藤 渉 様

Institutional Research (IR) の役割は、大学内外の情報収集と分析による意思決定支援となります。すなわち、IR 部署及び担当者が行う IR の諸活動を行うことは、大学にとっては目的ではなく、大学の経営に資する意思決定の手段といえます。文部科学省中央教育審議会大学分科会 (2020)「教学マネジメント指針」において、教学マネジメントの基盤となる IR の機能への期待もあります。東北学院大学では、IR 部署の設置の際に、その組織と権限の整備、学内データの所在の明確にし「大学の資産」として学内データの IR への活用を進めてきました。その中で、e-stat などのオープンデータを利用することで、大学の客観的な現在地を知ることができました。本報告では、オープンデータと BI ツールの活用方法も含めた話題提供をさせていただきます。

#### **(3) 北海道国立大学機構における研究データ管理の枠組みづくり**

講演者：北見工業大学 情報処理センター センター長 教授 升井 洋志 様

2022年4月、小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学は「北海道国立大学機構」(以下、機構と呼ぶ)として法人統合を行い、商・農・工の三分野の単科大学の共同体として運営を開始しました。分野の違う大学の統合によって教育、研究、地域貢献のさまざまな方向での融合と発展が期待されています。そのなかで機構管轄の組織としてオープンイノベーションセンター(略称: ACE)が設置され、三大学の研究連携と地域のニーズを合わせて新たなイノベーションの創出を目指します。この実現のためには、ICT インフラ統合、ID 統合、データ管理といった技術的課題を克服する必要があり、ACE では「データ統合 ICT 利活用部門」がその役割を担っています。本講演では、ACE におけるデータ管理に向けて、国立情報学研究所(略称: NII)の研究データマネジメントシステムである「GakuNin RDM」の利活用と他のサービスとの融合を促すポータルサイト「ORION」の紹介と、インフラ、データ統合にまつわるエピソード等をお話しさせていただきます。

#### **(4) SRA 東北ソリューション紹介**

講演者：株式会社 SRA 東北

##### ① 認証基盤関連サービスの紹介

多くの大学様で取り組みや検討が進められている ID 管理と利用者認証の高度化、効率化についてサービス提供を実施してきた弊社の視点で今後の動向についてご紹介させていただきます。また、関連して大学様で実施されている各種申請手続き業務についての管理・運用業務を支援サービスについてご紹介をさせていただきます。

##### ② 教員業績管理システムと中期目標中期計画管理支援システムの紹介

教員の業績管理システムである「DB-Spiral」、中期目標中期計画の業務管理を支援する「PDCA-Planter」、また関連したサービスについて併せてご紹介させていただきます。

##### ③ 生成 AI の活用についての紹介

今、話題の生成 AI について、弊社の最新の取り組みについてご紹介させていただきます。

### **第二部 情報交換会 (17:40-19:20)**

本イベントに関するお問い合わせについて、以下の担当までにお問い合わせください。

担当：営業戦略部 相澤 秀樹 電話：022-221-9061 メール：uv-ev@sra-tohoku.co.jp